

学年	中学3年	教科	美術	科目	美術	単位数	1
教科書名		美術2・3 探求と継承 (開隆堂)		副教材名	画材など		
コース・クラス		中高一貫					

1. 目標

- ・ 図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。
- ・ また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身につける。

2. 授業のねらい

- ・ 身近な人をスケッチしたり、身の回りの動植物を表現したりする題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ。「色の性質」や色彩についての基礎知識を学ぶ。

3. 授業の進め方

- ・ 美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自のイメージを膨らませる。
- ・ 頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取り、足りない部分を根気よく補いながら自分のイメージ に近づくよう制作する。
- ・ 道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をする。「すずかけ祭」で作品展示を行う。

4. 学習上の留意点

- ・ 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。
- ・ 提出物の期限を守る。
- ・ 作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

5. 定期試験

- ・ 定期試験では行わず、実技テストを授業時間中に行う。

6. 評価方法

- ・ 技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	工芸 ・スクラッチ皿	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラッチ皿制作の正しい手順と道具の使用方法を理解する。 ・鉛筆の種類と消し具について理解を深める。 ・対象をよく観察し表現することができる。 ・すずかけ祭で展示する。
	5	・皿に愛着のあるデザインを考えスクラッチ制作する。	授業態度	
	6	鉛筆デッサン ・ものの形の捉え方、質感、量感など踏まえ与えられたモチーフを描写する。	実技テスト	
	7			
二学期	9	彫刻 ・木彫鏡	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・木の素材を十分に生かした作品づくりができる。 ・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。 ・自らのイメージに忠実に、根気よく表現できる。 ・彫刻刀の正しい使い方、彫り方を理解する。 ・完成をイメージし、計画的に作業を進めることができる。 ・与えられたテーマに沿って、視覚伝達できるポスターを制作する。
	10	・木工の彫り方の基本を学び取り入れて制作する。	授業態度	
	11	デザイン ・ポスター制作	実技テスト	
	12	・企業のコンクールに出品する作品の制作		
三学期	1	模写 ・名画の模写	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の道具の使い方と技法を理解する。 ・印象派の作品の特徴を理解する。 ・自分独自の表現方法を工夫し積極的に課題に取り組む。 ・印象派の画家の歴史を学び理解する。
	2	・印象派の画家について学び、絵の具で模写する。	授業態度	
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。